

## ヨコスカ調理師専門学校で戦闘糧食を展示



戦闘糧食の展示

神奈川地方協力本部横須賀地域事務所（所長 大里3海佐）は、2月11日（水）、横須賀市汐入町にあるヨコスカ調理師専門学校で行われた第37回料理作品展「敷島祭」に参加し、広報活動を行った。

この料理作品展では、学生による料理作品の展示や調理実演をはじめ、ホテル料理長等による模範料理の展示のほか、四條古流庖丁儀式や氷の彫刻、協賛企業の模範料理作品の展示等が行われた。自衛隊のブースでは、戦闘糧食などを展示し、多くの来場者が戦闘糧食I型（缶飯）やII型（レトルト）を物珍しそうに見学していた。

横須賀地域事務所は、「今後も、このような地域のイベントに積極的に参加し、より多くの人に自衛隊についての理解を促進し、防衛基盤の拡充を図っていく」としている。

## 企業の部隊研修を支援



駐屯地の説明



資料館見学



記念撮影

神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 酒井1海尉）は、2月19日（木）、「相模会」（神奈川県央地区倉庫業組合）の駒門駐屯地研修を支援した。

当日は晴天に恵まれ、見学には絶好のコンディションのもと、広報室員による駐屯地説明や資料館、74式戦車の見学が行われた。

特に、74式戦車の見学では、車高の交換要領、キャタピラの構造などに見学者の注目が集中し、「実用後40年近く経過した車両をいかに維持しているのか」などの質問も出ていた。また、「雄大な富士山麓で日夜訓練に取り組む隊員と戦車を大変心強く思う」と感想を述べていた。

厚木募集案内所は、「地元企業の方々に自衛隊の活動を理解して頂き、就職援護基盤の強化を図る」としている。

## 神奈川地本と第2潜水隊群がタッグ 潜水艦のファンを増やせ！



潜水艦「なるしお」の前で記念撮影

神奈川地方協力本部（本部長 高田 充1海佐）は、2月21日（土）、第2潜水隊群の協力のもと、「神奈川地本広報センターイベント（潜水艦見学ツアー）」を行った。

このイベントには、75名の応募があり、中学生から27歳未満の、いわゆる募集対象者19名が抽選で選ばれ参加した。

横浜市中区にある本部から米海軍横須賀基地に移動し、ゲートで厳重なチェックを受け第2潜水隊群に到着した。カメラと手荷物をバスに残し、垂直な梯子を1名ずつ慎重に下りて行くが思ったより長く、皆驚いた様子だった。士官室でブリーフィングを受けたのち発令所、魚雷室、居住区、機関室などの順で詳しい説明を受けた。発令所では全員が潜望鏡を覗き、魚雷室では見習いの若い隊員が魚雷の隣で寝起きしていることに、とても驚いた。

参加者からは、「普段絶対出来ないような体験ができた」、「とても狭く窓もない生活で隊員さんは大変」、「秘密の部分が多い潜水艦の見学ができたのは貴重でした」等の感想が聞かれた。また、4名が「自衛隊に入隊してみたい」とアンケートに答えていた。

神奈川地方協力本部は、「潜水艦を希望する隊員が増えるよう今後も、第2潜水隊群と密接に連携していく」としている。